

●評価の目安となるアンケート結果と目標値

評価の目安となるアンケート結果と目標値		
アンケートの内容	現状値 (H21)	目標値 (H26)
週1回以上朝食を食べないことがある人の割合	12% →	10%以下
朝食をバランスよく食べる人の割合	47% →	60%以上
食事を楽しんでいる人の割合	93% →	93%以上
朝食をひとりで食べる人の割合	21% →	15%以下
食前食後にあいさつをする人の割合	48% →	70%以上
食の安全性に関する知識を持っている人の割合	66% →	80%以上
食品を購入する時に安全性に気をつける人の割合	70% →	85%以上
地産地消に関心がある人の割合	73% →	90%以上
特産品を知っている人の割合	73% →	90%以上
学校給食での県内産食材の利用率	64% →	70%以上
農作業をしたことがある幼児・小学生の割合	幼児 92%	→ 100%
	小学生 94%	
高校生以下で料理を作る手伝いをする人の割合	58% →	70%以上
郷土料理を知っている人の割合	45% →	60%以上
食品を購入するときに栄養面に気をつける人の割合	13% →	30%以上
食育を内容まで知っている人の割合	48% →	70%以上
食に関する講習会・講演会に参加したことがある人の割合	24% →	50%以上

食生活の現状は…

幅広い層の住民を対象としたアンケートを平成21年7月に実施し、食育に対する意識や関心、食生活の現状を把握しました。

また、アンケートの結果から、目標となる項目を抜き出し、5年後の評価の目安として目標値を設定しました。この目標値にむけ、いろいろな取り組みをしていきます。



広報で各分野の取り組みを紹介

計画には各分野（家庭、個人、保育所、学校、生産者、事業者、地域、行政など）が、どのようなことを取り組むのか具体的な例を載せています。

『食育はみんなが主役！』です。今後、町内のいろいろな場面で食に関する取り組みが行われることを期待します。

広報では7月号から『食育コーナー』を設け、各分野それぞれの取り組みを紹介していきます。

食育はみんなが主役！

家庭個人

- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣をつける
- 主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事を心がける
- 伝統料理・郷土料理を学び伝える

保育所学校

- 食育の年間指導計画を作成し、実践する
- 早寝・早起き・朝ごはんを啓発する
- 主食・主菜・副菜がそろったバランスのよい食事を推奨する

生産者事業者

- 地元産食材のよさや利用法について積極的に情報発信をする
- 給食の食材として、新鮮で安心安全な地元産食材を積極的に提供する

地域

- 保育所・学校主催の教室などに、積極的に協力する
- 世代間交流等を通じて、地域の特色ある食文化を継承していく

行政

- 地元産食材についての情報発信をする
- 産地直結活動を推進する
- 食育の日（毎月19日）・食育月間（6月）を普及する



大山町食育推進計画は大山町の他の関連計画と整合性を図りながら、平成22年～26年を計画期間とし、総合的に食育をすすめていきます。

計画書を読むには

大山町食育推進計画は大山町行政ホームページ、保健福祉センターなわ、町内公民館、図書館でご覧いただけます。

◆問い合わせ先

大山町保健課

☎0859-54-5206